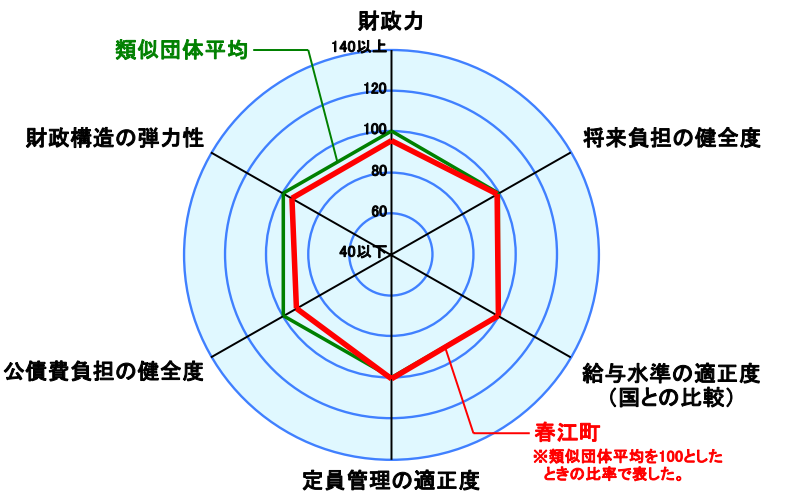
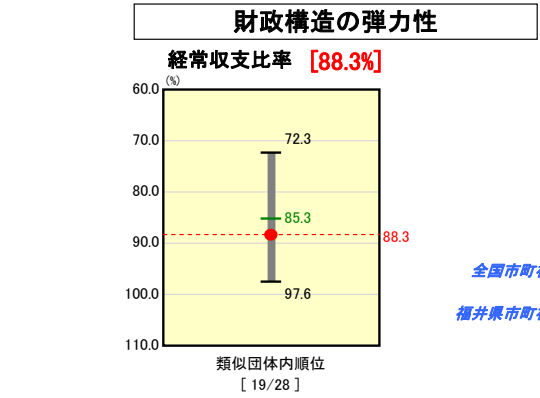
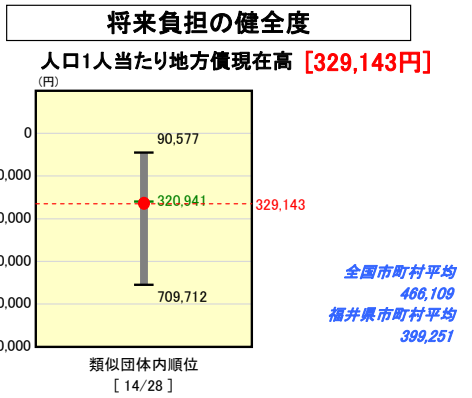
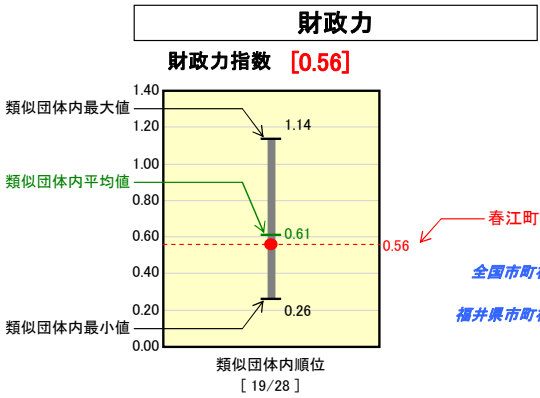


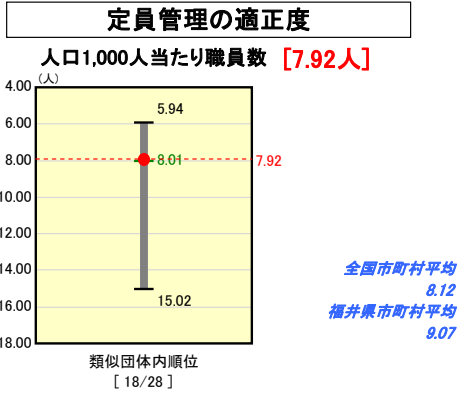
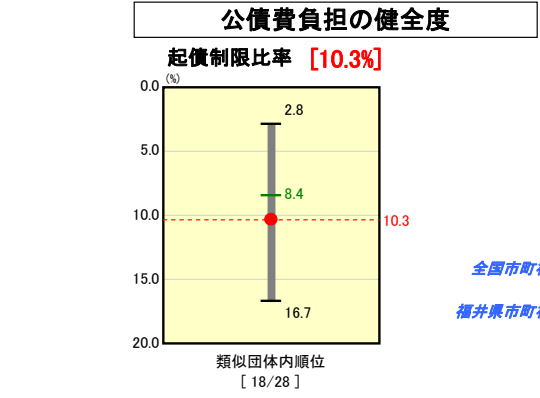
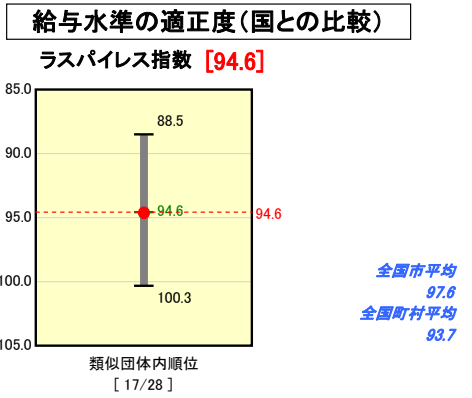
市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福井県 春江町

人口	24,110 人(H17.3.31現在)
面積	24.43 km ²
歳入総額	6,965,960 千円
歳出総額	6,599,110 千円
実質収支	349,240 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



分析欄

※平成18年3月20日に、旧三園町、旧丸岡町、旧坂井町と合併し、坂井市となった。

- 財政力指数**
文化の森整備事業が年々減少し需要額の伸びを抑えている。一方で、平成13年度から続けている徴収体制の強化もあり税収が改善してきており、若干ではあるがここ数年は指数が上昇している。今後は新坂井市として、更なる税収の確保に努め、弾力のある財政運営を図りたい。
- 経常収支比率**
県都福井市に隣接する町としての特性から年々人口が増加している。その影響により全体として高齢者・障害者扶助費や小中学校就学援助費といった扶助費の割合が高くなっている。また、公共施設の維持補修費も多くなっている。人件費、物件費の抑制など歳出削減の努力を行い前年度よりは比率が減少しているものの、全体として高い傾向が続いている。今後は合併を機に、更なる経常的経費の削減に向け努力したい。
- 起債制限比率**
文化の森整備事業(地域総合整備事業債)にかかる公債費の交付税算入分が平成11年度をピークに年々減少してきたことにより、比率算定で分子の部分が大きくなり、結果として比率上昇につながっている。合併のためのハード面の整備により、一時的に起債額が増え、比率上昇につながるが、それ以後は大規模な事業を抑制し、健全な財政運営・起債管理を行うことで比率の減少に向け努力したい。
- 人口1人当たり地方債現在高**
文化の森整備以後は大規模な事業を抑制し起債の発行を抑える努力をしている。今後も適正な財政運営・起債管理を行いながら将来の負担を減らす方向としたい。
- ラスパイレス指数**
平成16年度では人件費の一部カットも実施しているが今後10年間で退職者数がピークを迎えることから、更に財政が圧迫されるものと予想される。そのため、合併を機に給与体系や人員配置など見直しを行いながら、適正化を図りたい。
- 人口1,000人当たり職員数**
類似団体平均と同等であるが、今後は合併を機に行財政改革を進め、より適切な定員管理に努めたい。